

一般質問

■市道徳田18号線について
事業展開の再検討を！

質

市道徳田18号線は七尾中学校だけでなく朝日小学校などへの通学にも重要な路線であるが、道路幅が狭く危険である。早く拡幅整備を実施してほしいとの地域の声が増しに高まっている。

現在、バイパス部を先行して進めているが、小学校の通学を考えると、徳田駅側の整備も重要である。現況を考慮して、事業展開を再度検討してほしい。



徳田 正則 議員 (新国会)



道路幅が狭い市道徳田 18 号

答 市道徳田18号線は、限られた予算の中で早期の整備効果を発現するため、終点側のバイパス区間を優先して進めてきた。現道の拡幅整備も重要であり、今年度より用地の確保ができた一部区間について、現道の拡幅工事に着手したところである。

現道の拡幅工事を実施する場合、水路の移設など下流側から順次実施する必要があることから、まとまった区間で用地の取得が完了した部分からなることをご理解いただきたい。引き続き予算の確保に努めながら、できる限り早期の完成に向けて取り組んでいく。

一般質問

■市長が目指す施策について
パトリア再生のコンセプトは？

質

駅前のにぎわい創出とパトリア再生には、駅前のコンパクトシティをどうつくり込むかが問われており、並び立つパトリアとミナ・クルが市街地の中心拠点としての機能が果たせるようにすることが重要である。

そこで、パトリアについて、次の2点について伺う。①幅広く市民の声を反映させる取組について ②総合的に駅前の賑わいをつくる考えについて

答

①経済界と連携し、地域未来に向けた新たなプロジェクトチームをつくり、専門家を交え、幅広く市民の意見やアイデアを聴く体制が必要と考えている。

②七尾駅前の賑わいの創出には4つのコンセプトを考えている。

この4つのコンセプトを満たす施設を目指している。

4つのコンセプト

・地元のお年寄りや学生が集い、憩える場所、時間の確保
・駅前の利点を活かし、市外、県外、海外から観光客が集まり、交流人口の増加につながる施設
・能登の玄関口として、奥能登の市町とも連携し、奥能登への誘客につながる場所
・地元の地域資源を活かし、地域の活性化や地域産業にプラスになること



荒川 一義 議員 (無会派)



七尾駅前広場とパトリア

一般質問

■有害鳥獣対応について
有害鳥獣処理施設の建設計画は？

質

有害鳥獣という野生イノシシが最初に浮かぶ。今年は、豚コレラに感染したイノシシの死骸が多く見られると捕獲に当たっている市民からよく聞く。ワクチン散布は県が事業を担い、七尾市が協力しているが、経口ワクチン散布の効果について伺う。

また、有害鳥獣処理施設の整備について、国からの補助金を含めた建設予算の内訳と処理する個体の受入れはいつから始まるか等の稼働計画について伺う。

答

野生イノシシに免疫をつけ、豚熱ウイルス拡散防止や飼育豚を豚熱被害から守るため、県に協力し、令和2年11月末までに7回にわたり、市内56か所に累計7,380個の経口ワクチンを散布しているが、効果は分析中である。

有害鳥獣処理施設の建設費の現在の総額は、9千5百75万3千円で、造成費を除く建設費の約55%にあたる4千6百40万8千円が国庫補助金である。来年4月1日からの稼働開始を目指し工事を進めている。



永崎 陽 議員 (新国会)



有害鳥獣処理施設

有害鳥獣処理施設建設費

造成工事	9,172,000円
実施設計等委託費	3,531,000円
建設工事	83,050,000円

建設工事の内訳

冷凍冷蔵庫・焼却炉上屋工事	45,727,000円
焼却炉設置工事	30,525,000円
冷凍貯蔵庫設置工事	6,798,000円